

2.G.2.- 断熱性用途：靴、タイヤ (Adiabatic Properties: Shoes and Tyres) (SF₆, PFCs)

1. 排出・吸収源の概要

1.1 排出・吸収源の対象及び温室効果ガス排出メカニズム

断熱性用途のゴム（靴、タイヤ及びテニスボール等）の製造において SF₆ 及び PFCs が使用されており、SF₆ 及び PFCs が使用された運動靴のソール、自動車のタイヤ、テニスボール等から一定期間を経て（主として廃棄時に）SF₆ 及び PFCs が排出される。

2013 年度の検討において、国内での断熱性用途のゴムにおける SF₆ 及び PFCs の使用実績について確認したところ、使用実績が確認されなかったことから、現時点では「NO：ガスの排出・吸収に結びつく活動が存在しない」として報告している。

1.2 排出・吸収トレンド及びその要因

記載事項なし。

2. 排出・吸収量算定方法

記載事項なし。

3. 算定方法の時系列変更・改善経緯

表 1 初期割当量報告書（2006 年提出）以降の算定方法等の改訂経緯概要

	2015 年提出
排出・吸収量 算定式	2006 年 IPCC ガイドラインの適用に伴い、新たに対象となった本排出源の排出状況を確認。
排出係数	—
活動量	—

（1）初期割当量報告書における算定方法

2006 年 IPCC ガイドラインから新たに追加された排出源であり、初期割当量報告書では算定していなかった。

（2）2015 年提出インベントリにおける算定方法

2006 年 IPCC ガイドラインにおいて、本排出源が新たに追加されたため、算定方法を検討したが、断熱性用途のゴムにおける SF₆ 及び PFCs の使用実績が確認されなかったことから、「NO」と報告することとした（現行の算定方法と同様。）。